



巻頭言

脳血管センター

教授 / 池田 ^{いけだ} ^{ひさと} 尚人



脳血管センターは、2022年4月より新しいメンバーが加わり新しい体制となりました。今までの診療体制を維持しつつ新しい分野を挑戦する年になりました。脳神経外科の診療についてお話しします。

当院は、日本脳卒中学会が認定する一次脳卒中センターです。24時間体制で脳卒中急性期に対応しており、超急性期血行再建治療では少しでも早く治療が開始できるよう工夫しており、開頭手術、血管内手術の両方が行える体制を整えています。脳梗塞でのtPAの投与およびカテーテル治療による血栓回収療法も積極的に行っており、破裂脳動脈瘤（くも膜下出血）、脳出血等に対して常に緊急手術が行える体制を整えています。

脳卒中相談室窓口

脳卒中相談窓口はご本人あるいは家族が、脳卒中に対する生活上の問題や心配がある場合に対応する窓口です。将来の不安、病気の疑問点また生活や経済的な問題がある場合はお気軽にご相談ください。

脳神経外科の一般診療

1) 脳血管障害（未破裂脳動脈瘤、再発に対する予防手術）

脳血管の狭窄・閉塞は再発や新しい脳梗塞の原因となります。予防手術として血行再建術（バイパス手術など）を行います。日常生活を考慮し最良と思われる治療計画をご提案します。脳ドックで発見された脳動脈瘤に対しても最適と思われる治療法（開頭クリッピング、脳血管内手術）を提案します。

2) 顔面痙攣、三叉神経痛

顔面痙攣および三叉神経痛は、日常生活を甚だしく障害します。これらの原因は、血管による脳神経の圧迫です。薬以外に手術による成功率も高く、根治が可能です。

3) 脳腫瘍

当院は、良性脳腫瘍の割合が多いですが、大きな例、特殊な例や難しい例も多いため手術支援機器（手術ナビゲーションシステムなど）や神経モニター（各種誘発電位など）を利用し手術によりトラブルを最小限にとどめるよう日々準備しております。

4) 転移性脳腫瘍

癌治療の進歩により転移性脳腫瘍の治療は変わりつつあります。この結果、当科での治療は増加し続けています。放射線療法、手術治療の長所・短所を鑑み、最良の治療をご提案します。

5) 特発性正常圧水頭症

物忘れ、歩行障害、失禁がこの病気の症状です。特発性正常圧水頭症は手術で治ります。また症状が進まないよう検査の段階からリハビリテーション科と連携し、チーム医療を行っております。



第104号のトピックス

- 巻頭言（脳血管センター）
- 歯科衛生士職業紹介
- 公開講座のご案内
- クリスマスツリーを点灯しました
- 年末年始休診のお知らせ
- 深川消防署から表彰されました
- ご意見ご要望
- 編集後記

歯科衛生士 / つぶらや えいこ
円谷 英子

歯科衛生士は、むし歯や歯周病などの予防や口腔衛生の向上を図ることを目的として、口腔の健康増進をサポートする国家資格の専門職です。当院の歯科・歯科口腔外科外来には2名の歯科衛生士が配属されています。



最近では、歯周病と全身疾患との関わりや、お口の機能が衰えるオーラルフレイルなどの口腔機能低下による誤嚥・誤嚥性肺炎などが話題になっており、お口の健康が全身の健康に深く影響を及ぼすことが明らかになっています。

当院の歯科衛生士は、入院予定もしくは入院中の患者さんのサポートを中心に、歯石除去・口腔衛生指導などの歯周病の管理や、有病者・高齢者に対して誤嚥性肺炎予防を目的とした口腔衛生管理を、歯科外来や病棟において実施しています。



また医科の全身麻酔下での周術期や放射線・化学療法において医科歯科連携のチーム医療の一員として歯科衛生士も関わっています。

手術の安全を図るために、歯科医師が手術前に歯の動揺や歯列の状況などを確認し、歯科衛生士が術後合併症予防を目的に、専門的な口腔衛生処置を行います。

放射線・化学療法においては、医科の治療開始前から歯科が連携し、医科の治療を円滑に進めることを目的に、口腔内の状況変化に応じた清掃方法や清掃道具の提案、保湿剤等の指導を密に行い、患者さんの口腔内環境を保つサポートを行います。

全身疾患へのリスクを軽減するために、早期にむし歯や歯周病、機能低下等の対応を図り、セルフケアを強化していくことが大切です。

今後も、人生100年時代を支える担い手として、妊娠期から終末期までの各ライフステージに合わせたお口の健康サポートを行っていきたいと思います。

歯科室スタッフ



Pick up

公開講座のご案内

昭和大学江東豊洲病院では、住民の皆さんにわかりやすく医療の知識を深めていただくために公開講座を開催しています。

今年度もホームページ上で動画を公開し、WEB開催の形式になっています。ぜひご視聴ください。

第15回公開講座（WEB開催）

- ◆ テーマ：知って備える「あたま」の病気
- ◇ 脳卒中になったら 脳神経外科 池田教授
- ◇ こわい頭痛・つらい頭痛 脳神経内科 栗城准教授
- ◇ 脳卒中予防10カ条～生活習慣を見直してみませんか？
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 中村看護師
- ◇ 脳血管疾患のリハビリテーションについて リハビリテーション室 山寺理学療法士
- ◆ 掲載期間 令和4年12月1日（木）～令和5年2月28日（火）



Report

クリスマスツリーを点灯しました



1階エスカレーター下にクリスマスツリーの設置と正面関前のイルミネーションを実施しています。

ご来院の際はぜひ、クリスマスのイルミネーションをお楽しみください。



年末年始休診のお知らせ

2022年12月29日（木）から2023年1月3日（火）は、
年末年始のため休診となります。あらかじめご了承ください。



Report

深川消防署から表彰されました

11月9日に令和4年度火災予防業務協力者等表彰式にて日頃から火災予防に協力している事業者として、当院へ感謝状が贈呈されました。

今後も火災予防等で消防庁とも協力し、よりよい診療を提供できるよう職員一同努めてまいります。



ご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>多摩美術大学のテキスタイルにいつも癒されます。 今後は絵画も展示して下さい。 学生さんの作品は力があって 勇気づけられます。</p>	<p>この度は、お褒めの言葉をいただき、誠にありがとうございます。 引き続き多摩美術大学と連携し、作品を展示してまいります。</p> <p>回答部署：管理課</p> 

編

集

後

記

本年も年の瀬が迫ってきました。年々時が経つのが早くなっているなあ、と感じていませんか？ その感覚について、19世紀フランスの哲学者ポール・ジャネが発案した法則で「人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例する」というものがあるそうです。この法則から人生90年として物心がつく3歳位から計算すると、20歳にはもう体感的な人生は半分過ぎてしまう、となるようです。とすると自分の時間はあとどのくらい残っているのだろうか・・・考えるのはやめましょう。いずれにしろ残っている時間は加速度的にどんどん少なくなっていくます。やろうと思ったことはすぐにやらないと時はあっという間に過ぎてしまいます。でも、今忙しいし後でやればいいのか、と思ってしまう自分がここにいるのは否めません。皆様にはそんな私とは違ってやろうと思ったことは是非すぐに行動に移して、これからも充実した日々を過ごしていただきたいと思います。

麻酔科 准教授 おおつか 大塚 なほき 直樹



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

Showa University KotoToyosu Hospital